

平成 30 年度（第 5 回）  
社会教育委員会議 議事資料

平成 31 年 1 月 18 日（金）

# 目 次

○平成 30 年度社会教育委員会議活動計画について	……………	P. 1
○地域総がかりの教育の推進について	……………	P. 2
○平成 31 年度社会教育委員会議活動計画（案）について	……………	P. 3
○兵庫県社会教育研究大会（11/14）の参加報告について	……………	P. 4
○東播磨・北播磨地区社会教育振興大会（12/ 1）の参加報告について	……………	P. 5

## 平成 30 年度社会教育委員活動計画について

### 1 目的

- ① 平成 26 年度以降、社会教育委員会議でまとめた社会教育施設にかかる提言書に対する取組の進捗状況を確認し、成果と更なる課題の把握に取り組む。
- ② かがわ教育ビジョン（加古川市教育振興基本計画）における加古川市の教育が目指す基本的方向の一つである「地域総がかりの教育」のより一層の推進について、社会教育委員それぞれの立場から考え、意見集約する。

### 2 活動の進め方について

- ① 各提言における期待される取組の進捗状況について、現地調査も含めて確認を行うとともに、成果と更なる課題の把握に向けて協議を行う。
- ② 現状の取組についての報告を受け、取組のより一層の推進に向けて社会教育委員それぞれの立場において調査・研究を行い、意見集約する。

### 3 スケジュール

回	時期	内容
第 1 回	4 月	・社会教育関係団体への補助金の交付について ・平成 30 年度社会教育委員活動計画（案）について ・各課事業の推進について
第 2 回	6 月	・社会教育委員会議からの提言書に対する取組の進捗状況について
第 3 回	9 月	・地域総がかりの教育の推進について（取組報告）
第 4 回	10 月	・地域総がかりの教育の推進について（現地調査・協議）
第 5 回	1 月	・地域総がかりの教育の推進について（協議・意見集約）

### 4 参 考（社会教育委員会議からの提言書）

- 平成 26 年度 「加古川市立少年自然の家のあり方についての提言書」  
平成 27 年度 「加古川市立図書館のあり方についての提言書」  
平成 28 年度 「加古川市立公民館運営事業の今後についての提言書」  
平成 29 年度 「青少年女性センターの今後のあり方についての提言書」

## 地域総がかりの教育の推進について

### <現 状>

- ◎ 本市では、加古川市教育振興基本計画において、加古川市の教育が目指す基本的方向の一つとして「地域総がかりの教育」のより一層の推進を掲げており、重点目標として、「学校園・家庭・地域の連携・協力を強化し、社会全体の教育力の向上を図る」「家族の絆を深め、家庭の教育力の向上を図る」としている。学校園支援ボランティア制度、児童クラブ、放課後子ども教室など、地域と連携した施策に取り組んでいる。

### <課 題>

- ◎ 少子高齢化、グローバル化、人工知能化など、社会環境が大きく変化をしている。特に、地域社会のつながり・支えあいの希薄化、家庭の孤立化、学校の抱える課題の複雑化・多様化などの様々な課題に直面している。このような課題を解決し、持続的な地域社会を実現するためには、子どもから高齢者まで地域住民全員が相互に関わり、社会全体の教育力を向上させることが必要である。

### <期待される取組>

#### ①学校を誰もが活躍できるフィールドに

学校園・家庭・地域が連携する場として、学校園が上げられる。学校園でのボランティア活動を通して、子どもたちに様々な人と触れ合う機会を増やし、多様な体験活動に取り組むことで、社会性や生きる力を育む。また、大人は子どもたちとの触れ合いを通して、教える側としても新たな発見がある。以上のことから、社会全体の教育力を向上させるためには、各学校を核とし、積極的に地域の人が入っていけるような環境を整備することが期待される。

- ・学校園におけるボランティア活動の活性化

地域の方は様々な知識や得意分野を持っている。各ユニット内だけではなく、市内全域で活躍いただけるような仕組みをつくり、活躍できる機会を増やすことが求められる。

- ・地域総がかりの教育にかかる会議の統合

現在、様々な協議会で地域総がかりの教育について話し合われている。そのような協議会を集約し、総括的に協議を行い、取り組みを進めていくことが求められる。

#### ②子どもたちが輝く地域に

様々な地域課題を解決するためには、地域と学校の連携・協働の下、幅広い地域住民等（多様な専門人材、高齢者、子ども、PTA・青少年団体、企業・NPO等）が協働し、取り組むことが必要となる。また、学校だけでなく、公民館などの社会教育施設や地域の集会所等を活用して、子どもから高齢者まで一緒に取り組むプログラムを推進することが期待される。

- ・子どもの居場所づくり

子どもが自由に遊ぶことができる場所が減ってきている。公民館などの社会教育施設等を活用し、多様な子どもの居場所づくりに取り組んでいくことが求められる。

- ・地域と子どもの協働

高齢者の孤立や若者の地域への帰属意識の低下など、地域課題は多岐にわたる。このような中、大人はもちろんのこと、子どもも活躍でき、共に支え合う地域をつくる活動を推進することが求められる。

## 平成 31 年度社会教育委員活動計画（案）について

### 1 内 容

平成 25 年度までは、社会教育施設の運営や主な社会教育事業について取り上げ、協議を行ってきました。また、平成 26 年度からは、社会教育施設にかかる提言書をまとめ、社会教育施策に関する協議を行ってきました。

今年度は、社会教育施設の運営や主な社会教育事業について取り上げ、総合的に協議を行うとともに、社会教育施設にかかる提言書に対する取組の進捗状況について確認し、成果と更なる課題の把握に取り組みます。

### 2 スケジュール（案）

回	時期	内容
第 1 回	4 月	・社会教育関係団体への補助金の交付について ・平成 31 年度社会教育委員活動計画（案）について ・各課事業の推進について （各課より平成 31 年度の予算や事業について説明）
第 2 回	6 月	・社会教育施設の運営について （社会教育施設の利用状況や事業について説明）
第 3 回	8 月	・社会教育委員会議からの提言書に対する取組の進捗状況について（加古川市立図書館）
第 4 回	10 月	・社会教育委員の役割について ・主な社会教育事業の推進について （社会教育にかかる主な事業について説明）
第 5 回	12 月	・主な社会教育事業の推進について （社会教育にかかる主な事業について説明）
第 6 回	2 月	・主な社会教育事業の推進について （社会教育にかかる主な事業について説明）

### 3 参 考（社会教育委員会議からの提言書）

平成 26 年度 「加古川市立少年自然の家のあり方についての提言書」

平成 27 年度 「加古川市立図書館のあり方についての提言書」

平成 28 年度 「加古川市立公民館運営事業の今後についての提言書」

平成 29 年度 「青少年女性センターの今後のあり方についての提言書」

## 平成 30 年度兵庫県社会教育研究大会開催要項

### 1 趣 旨

県内の社会教育委員並びに社会教育関係者が一堂に会し、各地における活動状況や研究成果を相互に交換し、社会教育の推進について当面する課題や社会教育委員の役割、活動さらには家庭、学校、地域住民の連携協力の方策について研究協議を行い、もって社会教育の振興に資する。

### 2 主 催 兵庫県社会教育委員協議会 兵庫県教育委員会

### 3 研究主題 豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた、社会教育の推進

### 4 期 日 平成 30 年 11 月 14 日 (水) 11:00～15:40

### 5 会 場 兵庫県民会館 11 階 パルテホール 他 〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL078-321-2131

### 6 参加者 社会教育委員、社会教育関係者等

### 7 日 程

10:30	～	11:00	受 付
11:00	～	11:15	開会行事 あいさつ・日程説明等
11:15	～	12:30	講 演
			演 題 「若者が子どもを支える仕組み」 ～NPO 法人 Brai nHumani ty の活動と組織～
			講 師 能島 裕介 氏 (NPO 法人ブレンヒューマニティー顧問)
12:30	～	13:30	昼 食
13:30	～	15:30	分科会による研究協議 (3分科会)
15:30	～	15:40	閉会行事 (各分科会場にて)

No.	発表地区	発表テーマ	研究課題
1	阪神北 (伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町)	学びを通じた地域づくりについて ～学校・家庭・地域の連携・協働～	阪神北地区各市町で取り組んでいる活動事例を取り上げ、学びを通じた地域づくりを推進するため、今後の学校・家庭・地域の連携・協働の方策について考える。
2	東播磨 (播磨町)	地域の教育力向上にむけて	学校園・家庭・地域の連携・協働を通して「学校支援」「放課後支援」「家庭教育支援」の3本柱としての事業を展開し、さらなる地域の教育力向上について考える。
3	中播磨 (姫路市)	市民参画型の文化財行政について	文化財の管理や文化財を活用したイベントを地域住民が企画運営することを通して、地域内・外の人と人との交流を深め、文化財を身近に感じ、地域住民と共に行う文化財の保存・継承について考える。

### 8 参加申込方法

・参加希望者は、各地区事務局へお申し込みください。

### 9 申込期限 (1) 地区事務局への期限 平成 30 年 10 月 26 日 (金)

※ 昼食をご用意いたします (弁当・お茶 1,000 円)。ご希望の方は、地区事務局まで代金を添えてお申し込みください。当日、弁当引換券をお渡します。

### 10 提出先及び問い合わせ先

東播磨・北播磨地区社会教育団体事務局  
〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木 97-1  
兵庫県加古川総合庁舎播磨東教育事務所内  
TEL & FAX: 079-421-8555

## 平成30年度東播磨・北播磨地区社会教育振興大会開催要項

- 1 趣 旨 高齢化、情報化、国際化社会を迎え、更には青少年問題から家庭教育の見直し等、社会教育にかかわる情勢の推移のなかで、社会教育の振興が緊要の課題となっている。この時に、より高度な視点から社会の現状を正しく把握し、社会教育の核心に迫る地道な研修を深め、東播磨・北播磨地区社会教育の振興に資する。
- 2 テーマ 「社会教育の振興」
- 3 主 催 東播磨・北播磨地区社会教育振興会
- 4 後 援 兵庫県教育委員会播磨東教育事務所  
加古川市教育委員会
- 5 日 時 平成30年12月1日(土) 13:30～16:00(13:00～受付)
- 6 会 場 加古川市人権文化センター  
(加古川市加古川町備後332-1 Tel:079-451-5030)
- 7 参加者 社会教育委員、公民館職員、視聴覚教育連盟理事並びにセンター委員、スポーツ推進委員、PTA協議会会員等の社会教育関係者
- 8 日 程

13:00	13:30	14:00～15:30	15:30～
受 付	開 会 行 事	講 演	閉 会

### (1) 開 会

あいさつ 東播磨・北播磨地区社会教育振興会  
会 長 鹿 多 証 道

祝 辞 兵庫県教育委員会播磨東教育事務所  
所 長 川 由 伸 一 様

加古川市教育委員会 教育長 田 淵 博 之 様

### (2) 講 演

演 題 「人との絆(たすき)に込めた想い」

講 師 北京オリンピック日本女子代表  
小 林 祐 梨 子 様